

## 2022年度 JSCA 建築構造士認定試験結果

### □受験者概要

人数 11名 会員8名(72.7%) 非会員3名(27.3%)

地区別 関東甲信越 5名 中部 2名、関西 2名、九州 2名

年齢 34歳～69歳 平均42.5歳  
40歳未満4名(36.4%) 40歳以上7名(63.6%)

所属 a 構造設計事務所 3名 b 総合設計事務所 5名  
c 建設会社設計部 3名

### □面接試験

実施日 東京：2022年10月1日(土)

大阪：2022年9月30日(金)

名古屋：2022年10月1日(土)

福岡：2022年10月1日(土)

試験地 東京 4名、大阪 3名、名古屋 2名、福岡 2名

概要 1名の受験者に対して3名の面接委員が同時に面接を行う。申込み時に提出された、経歴、作品などを基に、40分間の質疑応答を行い、人格・識見などJSCA建築構造士として相応しいかを、面接委員が独自に評価する。

### □筆記試験

実施日 2022年10月1日(土) 13:30～17:00

試験地 東京 4名、大阪 3名、名古屋 2名、福岡 2名

概要 「2022年度 JSCA 建築構造士資格認定試験実施要項」出題項目に示された建物概要の建物について構造計画を行う。その構造計画に関する設問への解答と構造計画を説明する略構造図を作成する(フリーハンド可)。試験時には、参考書・規準書などの図書の参照はできないが、計算機能のみの電卓は使用できる。

問題 体育館を併設する大学講義室棟

平面 東西83.0m×南北25.2m

立面 地上2階・地下なし

体育館屋根水下高さ 12m

### □審査会による合格判定結果

合格者 4名(合格率36.4%)

### □合格者氏名

安達 亮平

船積 宏彰

藤井 雅之

三谷 学



(東京会場)



(大阪会場)



(コロナ対策をとしての面接試験)